

参加にあたってのチェックリスト①

参加選手の注意事項

□公共交通機関利用時もマスクの着用等、予防の徹底をすること。

□参加承諾書兼健康チェック表を漏れがないように記入し提出すること

□体調管理を徹底し、少しでも体調がすぐれないときは参加を見合わせる事。

大会2週間以内に以下のいずれかに該当する場合には参加不可とします。

- ・平熱を超える発熱(37度5分以上) ・咳、のどの痛み ・胸の痛み
- ・嗅覚、味覚異常 ・鼻水・鼻づまり ・息苦しい ・全身倦怠感
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・大会前14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□入場前後、トイレ後等、手洗い(30秒以上)やうがい、手指の消毒の徹底をすること。

□手洗い後に手を拭くためのマイタオルと汗ふきタオルの両方を持参すること。

□マスク等の着用・持参をすること。

□入場時、会話時、着替え等の競技を行っていない間については、マスクを着用すること。(ただし、運動中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、熱中症には十分に注意すること。着用する場合も医療用マスクは熱中症等のリスクが高いので使用しないこと。)

□受付時・入場時・練習中・更衣中等も、互いの距離をとること。

□練習中の発声は控えるようにすること。

□ネット際等でも、相手に向けた状態での発声は控えること

□鼻水、唾液などが付いたゴミやマスク、使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ持ち帰ること。

□スクイズボトルの回し飲み・タオルの共有等もないようにすること

■その他、要項や感染症に対する予防徹底のプリントを熟読し守ること。

参加にあたってのチェックリスト②

運営側（チーム責任者）の注意事項

- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた承諾書兼健康チェック表について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと（主催者が管理。保管します。）
- 各校代表者は各事項がきちんと遵守できるように指導すること
- 運営スタッフ等は、必ずマスクを着用すること
- 練習会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は速やかに、要項記載の連絡先に報告をし、濃厚接触者の有無等についても報告すること
- スクイズボトルの回し飲み・タオルの共有等もないように指導すること
- 入場前後は手洗い（30秒以上）や手指の消毒を済ませ、前グループが完全に退場してから入場するように指導すること。
- 公共交通機関利用時もマスクの着用等、予防の徹底を指導すること。
- 参加承諾書兼健康チェック表を漏れがないように記入し提出させること
- 体調管理を徹底し、少しでも体調がすぐれないときは参加を見合わせるよう指導すること。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルと汗ふきタオルの両方を持参するよう指導すること。
- 運動中以外のマスク等の着用・持参を指導すること。
- 入場時、会話時、着替え等の競技を行っていない間については、マスク着用を指導すること。
（ただし、運動中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、熱中症には十分に注意する指導をすること。着用する場合も医療用マスクはリスクが高いため使用しない旨指導すること。）
- 受付時・入場時・練習中・更衣中等も、互いの距離をとることの指導をすること。
- その他、要項や感染症に対する予防徹底のプリントを事前に参加者に指導すること。

参加にあたってのチェックリスト③

会場使用時の注意事項

- 体育館入場口（受付）には、手指消毒剤を設置すること（最低2カ所）
- マスクを準備すること
- 感染防止のための実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを体育館入場口等に掲示する
- ステージ上に荷物を置く場所をあらかじめ指定し提示する
- 体育館外の手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
- 体育館外の手洗い場に「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
- 体育館外の手洗い場で、手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する
- 更衣室、待機スペースでは広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること（女子の更衣場所・要検討）
- 体育館内や更衣室又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス、ボール、ポールカバー、ネット白帯等）については、時間の入れ替えごとに役員で消毒すること
- トイレは換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）についても、役員でこまめに消毒すること
- トイレが洋式の場合は蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- トイレの手洗い場にも石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- トイレの手洗い場に「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 会場内も、換気のため、扉や窓を開放したままの状態を実施をして換気の徹底をすること。
- 熱中症予防や換気の観点からも、扇風機があれば競技者の安全面を考慮し設置すること